

「かぐや姫の里の集い」が開催されました！

平成 29 年 10 月 14 日（土）、富山市の「わくわくの森」（富山市西金屋、ファミリーパーク隣接地）において、「かぐや姫の里の集い」が開催されました。この取り組みは、竹林管理の優良事例や竹林の安全な整備方法、竹資源の活用方法等を紹介し、地域住民による継続的な竹林整備を推進することを目的に、平成 21 年度から実施され、今年で 9 回目となります。また「とやま竹資源ネットワーク講習会」も併せて開催されました。

集いには、当センター管内の阿古屋野森づくりクラブや里山再生整備事業実施地区（大海寺新、宮津、田朧）などの 8 名を含め、県内の森林ボランティア団体や事業実施地区関係者約 60 名が、富山平野を望む「見晴らし広場」に集合しました。

当日は、暑くもなく寒くもなく、野外活動に適した日で、午前の部では、裂け止めバンドやロープを用いた「タケの伐採」やチップパー機による「タケのチップ化」、午後の部では、森林ボランティア（きんたろう倶楽部）の指導による「タケのクラフトづくり」や森林研究所の指導による「タケの地下茎の掘り起こし」など、様々な活動を体験していただきました。

また、中越パルプ工業㈱からのチップパー機の寄贈やタケの買取りお知らせ、森林研究所の大宮副主幹研究員の講演もあり、「伐採は 3～5 年間継続すること」「地下茎に養分を蓄積させないため夏場に伐採すること」など、参加者の皆さんは竹林整備における知識や重要ポイントを学ばれました。



「かぐや姫の里の集い」参加者



はいっ！

はーい！

そちらの方は竹の高さの 1.5 倍以上離れて！
裂け止め措置バンドを巻いて！
倒れ始めたらすぐ退避だよ！
あまり覗きこんじゃだめだよ！
上下作業は禁止だよ！

親子参加もいらっしやいました



むずかしいな
あ。。。

玉切りに挑戦中



伐採竹の集積状況



枝払いの状況



チップパー機によるチップ化状況



ふるまい鍋を頂きながら昼食



きんたろう倶楽部による竹クラフトの展示
(竹クラフト班ではこのような竹の活用方法を学び、製作しました)



森林研究所 大宮副主幹研究員による竹についての講演

竹の伐採跡地にササが生えてきています。
ここを掘って地下茎を見
てみましょう。





地下茎がはびこって、
なかなか掘れん！

・地上部のタケを伐採し、きれいになったように見えても、養分を蓄えている地下茎がこんなに遅しく残っています。

・地下茎への養分の供給を経つために、伐採後のササも刈ることが大切。

・地上部に生えているタケと同じ重さの地下茎が養分を蓄えて地中に存在しています。

・根絶には、夏の暑い時期にタケを伐採することを3～5年繰り返すのが有効。

